

# 北海道原水協ニュース

原水爆禁止北海道協議会 Eメール hokkaidogensuikyo@pearl.ocn.ne.jp  
電話011 (747) 7557 fax011 (747) 7537 発行/2019年 8月30日

## さあ変えよう、私たちの声と行動で

**世界大会国際会議宣言を学習し、確信をもって秋の行動に踏み出そう！**

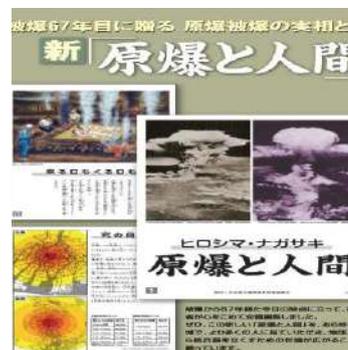
いま地域・職場で開かれている世界大会報告会に、積極的に参加しましょう。大会参加者を先頭に、9月の6・9行動、26日の核兵器廃絶国際デー・・・秋の全国行動に踏み出そう！

■**深川原水協**は、署名を進める「北海道民の会」呼びかけ人・JA北海道会長の飛田さんを活用して、9月議会に向けて各会派に働きかけ、日本政府への意見書採択をめざしています。

**七飯原水協 夏の原爆展・役場ロビーで開催中に・・・**

初日の26日午後、町内在住の1町民と名乗り、原水爆禁止を訴える展示パネルに『米軍ヘリが落ちてきた(パネル21)』と『外国人被爆者(パネル19)』に疑問を感じる。原爆展なのに署名は政治的だなど、1時間あまり抗議ではないがかなりの意見を述べる。真摯に対応した原水協理事は、主張のねらいは主催者に対する威圧と行政当局に対する申し入れにあったのではないかと、話しています。

実はこの人物は午前中にも来て、役場の総務部長に公平さを欠くと申し入れ、帰り際には「議会で取り上げてもらうぞ」と威嚇的な態度をとっていたそうです。今の政治的状況の現れだと、舟見洋三理事長から報告がありました。



## 核兵器禁止条約 カザフスタンが批准書 寄託し、26か国に

ソ連は1949年から89年にかけて、セミパラチンスクで450回をこえる核実験を実施し、壊滅的な健康への影響がありました。1991年に核実験場が閉鎖されてからちょうど28年後の8月29日、「核実験に反対する国際デー」に合わせて、新たにカザフスタンが批准書を国連事務総長に寄託し、26か国となりました。

訃報 鈴木 猛 さん 8月3日ご逝去  
(1945年8月15日生まれ)

2009年から国民平和大行進の通し行進者として、道内各地を歩く。最後の行進となった2017年には、「核兵器禁止条約ができる年に歩くこと、光栄です。毎年歩くことに意義がある」と話していました。

2018年札幌平和行進終結集會に駆けつけ、幹線通し行進者の山内金久さんのトランペットで♪「ヒロシマへ ナガサキへ」(作詞/鈴木猛)を熱唱する鈴木さん(写真・左)

